

## 尾張南支部

尾張南支部（金田英和支部長）は11月29日（火）施設見学会として会員29名が参加して、加山興業（株）へ伺いました。参加者は午前8時30分にアイプラザ半田（半田勤労福祉会館）駐車場に集合してバスに乗り込み、約2時間で加山興業に到着しました。

見学者は豊川リサイクルセンター2階会議室に入り、営業部第二営業課長の緒方大人氏から会社の概要、中間処理の工程について紹介映像を見ながら説明を聞きました。

工場見学は破碎・選別エリア、焼却・乾燥エリア、固体燃料RPFエリアの3つのエリアを、見学者は2班に分かれ、緒方課長、同課 山田康平氏の案内で見て廻りました。

破碎・選別エリアでは木材を細かく碎き破碎するチップラインと廃プラスチック類、木くず、繊維くず、がれき等が混じった混合廃棄物ラインを見学しました。

木材のチップラインでは一次破碎機を経て磁力選別機で鉄くず等を取り除き、二次破碎機でさらに細かく碎き、燃料チップとしてサーマルリサイクルします。混合廃棄物ラインでは、高精度の光学選別機で非塩素系廃プラスチック類・紙くず・繊維くず等を効率良く瞬時に取り出す様子を間近で見させていただきました。選別した廃プラスチック類、紙くず、繊維くずは固体燃料RPFの原料としてリサイクルされます。

焼却・乾燥エリアでは、可燃性廃棄物や注射器、ガーゼなどの医療施設から排出される特別管理産業廃棄物を2基の焼却炉で処理を行っています。焼却炉の特長、処理能力や温水を利用し、乾燥施設で汚泥の処理を行っている仕組みや、バグフィルターによって有害物質を除去、煤塵から重金属を回収するといった処理の流れ、



工場の概要について説明を受ける。

## 加山興業（株）へ施設見学



加山興業（株）豊川リサイクルセンター前で記念撮影

リサイクル、環境保全への取組について説明を伺いました。また、この他に蛍光灯再生プラントもあり、蛍光灯を破碎し水銀を除去し無害化した後ガラス破片をさらに細かく碎き、カレットガラスとしてガラスウールの原材料に再生リサイクルしています。処理能力は1時間当たり900本の破碎が可能で、リサイクル率は99.9%といます。さらにゴム再生プラントでは廃タイヤを破碎後、トロンメル選別機で金属を除去しゴムチップの大きさを揃え、人工芝等に再利用されています。

固体燃料RPFエリアでは、製造体制を2倍に増強した工場を見学しました。原料ヤードにはRPFの原料となる選別された廃プラスチック類、紙くず、繊維くずが積み上げられ製造ラインが見えない状況で忙しく稼働していました。

最後に工場裏手にあるみつばちの飼育施設に案内され、はちみつが製造されていることを確認しました。みつばちが育成されていることにより、この工場環境がクリーンだということが証明されています。

見学を終了し帰路の途中、蒲郡のホテル竹島で昼食をとり親睦を深めました。



廃プラスチック類を瞬時に取り除く RPF製造工場を見学  
光学選別機

